

令和元年度決算に係る

定期監査資料
決算審査

令和2年8月

商工労働部兼農林水産部
市場開拓局
食のみやこ推進課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1
	(2) 監査意見	1
	(3) 決算審査意見	1
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	決算資料(総括表)	5
7	事業別実施状況調べ	6
8	予備費の充用調べ	8
9	繰越関係調べ	8
	(1) 継続費逋欠繰越調べ	8
	(2) 繰越明許費調べ	8
	(3) 事故繰越調べ	8
10	収入証紙取扱額調べ	8
11	現金の取扱状況	8
12	財産に関する調べ	9
	(1) 公有財産	9
	(2) 金券類の保有状況	9
	(3) 基金	9
	(4) 債権	9
13	財産の貸付及び使用許可調べ	9
	(1) 土地及び建物	9
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	9
14	借受不動産明細調べ	9
15	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	9
	(1) 管理状況	9
	(2) 減免の考え方	9
	(3) 使用料の見直し	9
16	寄附物件の受納状況調べ	9
17	備品の処分状況調べ	9
18	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	9
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
19	貸付金等状況調べ	10
	(1) 総括表	10
	(2) 償還状況	10
○	意見、要望等	11

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 … 該当なし
- (2) 監査意見 … 該当なし
- (3) 決算審査意見 … 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況 … 該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	2.4.1 現在	31.4.1 現在	
定 員	4	4	4	4			8	8	
現 員	()	()	()	()	()	()	()	()	
	4	4	4	4			8	8	
過不足(△)	0	0	0	0			0	0	
臨時職員	0	0	0	0			0	0	
非常勤職員	0	1	0	0			0	1	事務補助1名

4 役付職員の調べ

(令和2年8月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
食のみやこ推進課長	岸田絵理子	1	4	
参事(兼務)	渡邊 比呂志	0	3	(本務)販路拡大・輸出促進課
課長補佐	藤本 夏子	0	4	
課長補佐	森本 理恵	2	4	

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
食のみやこ鳥取県推進事業 (発見・体験「食のみやこ」推進事業)	21,580			21,580

鳥取元気プロジェクト	Ⅱ産業を元気に ①「トップブランド」戦略を含めた食のみやこ県産品ブランド化事業
元気づくり総合戦略	Ⅰ豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 ③豊かな食と技術が集積した「とっとりフードバレー」の形成

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

県民自らが「食のみやこ鳥取県」を実感・体験できる環境づくりを進め、鳥取の食の豊かさを積極的に県内外に発信する機運を高めるとともに、全国に向けて県産品のPRを行う。

(イ) 事業の実施状況

事業区分	事業主体	事業内容
食のみやこイメージ発信	県	<ul style="list-style-type: none"> ・県産品を積極的にPR・販売する飲食店等を「食のみやこ鳥取県」推進サポーターとして登録した。(H30年度末登録件数:1,632 ⇒ R1年度末登録件数:1,647(県内1,253、県外360、海外34)) ・「食のみやこ鳥取県推進サポーター」のうち、特に活発な活動を行う方を「食のみやこ鳥取県推進三ツ星サポーター」として登録した。(H30年度末登録件数:87 ⇒ R1年度末登録件数:85) ・「食のみやこ鳥取県」マーク推奨事業:「食のみやこ鳥取県推進サポーター」の「食のみやこ鳥取県」ロゴマークの商品パッケージ等への活用を支援した。(8事業者 補助金:890千円) ・「地元の逸品再発見事業」:県内生産者等の製造現場や商品のこだわり、食文化等をメディアで紹介した。(BSSラジオ:51回/年、日本海新聞:全5段カラー3回・記事体広告12回/年)(委託料6,523千円)
食のみやこ鳥取県づくり支援交付金	民間団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・食のみやこ鳥取県のイメージアップや産品の特産化・ブランド化につながる民間等の取組に対し助成した。(14団体、交付金:5,178,607円) (主な取組:ご当地麺博覧会「イケ麺博」2日間 来場者約30千人、29(ニク)ロードウォーク 参加者216名、倉吉サクラム 参加者180人、湖山池グランピングデイ 参加者106人 等)
県産牛肉販売強化支援事業	鳥取県牛肉販売協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・県産牛肉の消費拡大に向けた取り組み(キャンペーンの実施等)に対し支援した。(補助金1,500千円)
県産魚ブランド発信事業	鳥取県産魚PR推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・県産魚(松葉がに、ハタハタ、岩ガキ、白イカ等)のブランド発信に対し支援した。(補助金1,449千円)

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・「食のみやこ鳥取県」農林水産物総合PRパンフレットの改訂を10年ぶりに行い、「地理的表示(GI)保護制度」の制度説明及び登録産品の紹介を新たに加えた他、食材として「五輝星」「星空舞」「プリンセスかおり」「長辛ねばりっこ」「サーモン」「アカモク」等の情報を追加し、県内外への県産農林水産物の情報発信に活用できることとした。

ウ 成果及び効果

- ・食のみやこ鳥取県づくり支援交付金を活用した事業が県内各地で行われ、県内外から多数の来場者が訪れ、食のみやこ鳥取県をPRすることができた。
- ・BSSラジオ「食のみやこ鳥取 探検隊が行く」番組内にて、県内事業者による自社商品紹介等を実施し、毎回3名への視聴者プレゼントを実施。令和元年度では合計51回の放送があった中で、約2,000件(1回平均約40件)のプレゼント応募があるなど、県内事業者の販売促進活動につながった。

エ 課題

- ・食に関するイベントが県内各地で行われるようになったが、食のみやこ鳥取県づくり支援交付金やロゴマーク、メディアの活用等により、今後も継続して「食のみやこ鳥取県」の魅力を発信し、鳥取県の豊かな食文化を広く印象づける必要がある。
- ・「食のみやこ鳥取県推進サポーター」の登録件数は、R1年度末で1,647件、「三ツ星サポーター」については85件の登録となった。今後も引き続きサポーターの登録拡大等による「食のみやこ鳥取県」の推進が必要である。
- ・食のイベントや「食のみやこ鳥取県」を支えている飲食店等では、新型コロナウイルス感染防止対策が必須となっており、今後のイベントや店舗運営について、「新たな生活様式」を取り入れた仕組への対応が必要である。

事業名		決算額	財源内訳		
			国庫支出金	その他	一般財源
「星空舞」ブランド化推進事業		21,107	10,670		10,437
鳥取元氣プロジェクト	II 産業を元気に ①トップブランド戦略を含めた食のみやこ県産品ブランド化事業				
元気づくり総合戦略	I 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2) 農林水産業 ③豊かな食と技術が集積した「とっとりフードバレー」の形成				
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
令和元年から本格販売が開始する本県オリジナル品種「星空舞」を、本県を代表する主食用品種として生産を推進し、県内外でのブランド確立を強力に図る。「星空舞ブランド化推進協議会」を設立し、高品質・良食味米生産に向けた取り組みを行うとともに、首都圏等での情報発信と、関西圏を主たるターゲットとした販路開拓を実施する。					
(イ) 事業の実施状況					
事業区分	事業主体	事業内容			
「星空舞」ブランド化推進事業	JA全農とっとり	「星空舞」のブランド確立や販路開拓のための取組に要する経費に対し助成した。(PR資材の作成・試食宣伝販売・販路開拓・公式ホームページの作成、専門誌への掲載等)			
「星空舞」生産体制確立事業	鳥取県産米改良協会	「星空舞」の生産拡大、高品質・良食味米生産に向けた取組に要する経費に対し助成した。(「星空舞」栽培コンテスト、作柄検討会等の開催、栽培展示ほの設置、品質分析等)			
全国的な情報発信	県	本格販売を開始する「星空舞」の全国的な認知度向上を目的とした情報発信を行った。 【首都圏】 ・首都圏でのデビューイベント・羽田空港での販売、大型ポスター・メディアキャラバン等 【関西圏】 ・初販イベント、大阪駅デジタルサイネージ、メディア掲載等			
イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
<ul style="list-style-type: none"> 本格的な販売開始となった令和元年度は、新米の販売時期に合わせて、県内、関西、首都圏においてデビューイベントを開催。メディア・広告媒体を使ったPRや、関西販売店での継続的な試食宣伝販売などを実施した。 					
ウ 成果及び効果					
<ul style="list-style-type: none"> 初出荷となる新米の販売時期に合わせて、県内、関西、首都圏においてデビューイベントを開催。メディア・広告媒体を使ったPRや、関西販売店での継続的な試食宣伝販売、米販売業者などを対象とした商談会への参加を実施した。 試食宣伝販売での消費者評価は概ね良好で、昨年度の試験販売に比べると販路の拡大も進んだ。一方で、3月以降は新型コロナウイルス感染症の影響で試食宣伝が一切行えない状況となり、販売対策の見直しが必要となっている。 					
エ 課題					
<ul style="list-style-type: none"> ブランド米を目指した販売推進により、販売単価をコシヒカリ以上に維持しているが、主たる販売先の関西での大々的なCM放映などは予算的に不可能なため、知名度の向上は急速には進んでいない。 現状では、試食宣伝などの消費者を対象とした地道な販売促進ができない中で、限られた予算で購買者対象を絞り込むなど最大効率を目指したPR・販売戦略が重要となっている。 					

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
6次化・農商工連携支援事業	23,313	14,458		8,854

鳥取元気プロジェクト	II 産業を元気に ⑨県産品輸出拡大や6次産業化などフードバレー戦略の推進
元気づくり総合戦略	I 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる (2)農林水産業 ③豊かな食と技術が集積した「とっとりフードバレー」の形成

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

農林漁業者自らが主体的に取り組む6次産業化や農商工連携を後押しし、加工、販売等に必要な機械、施設整備等を支援するとともに、県全域を対象とした支援体制の構築により、農林漁業者の所得向上と経済の活性化を図る。

(イ) 事業の実施状況

<補助事業>

事業名	事業区分 (執行局・課)	事業内容	事業対象	単年度補助金上限額
初めての6次産業化バックアップ事業 (農林局・水産課執行)		初歩的な6次産業化の取組に対し、試作開発や調査、機器整備等の経費を補助 補助率 2/3	農林漁業者	40万円
もうかる6次化・農商工連携支援事業	スタートアップ型 (当課執行)	6次産業化の取組みに対し、必要な備品等の経費の補助 補助率 1/2	農林漁業者	100万円
	6次産業型 (農林局・水産課執行)	農林漁業者が主体的に取り組む6次産業化、農商工連携に係る推進活動及び生産体制を含めた施設整備等の補助 補助率 県:1/3、市町村:1/6	農林漁業者	農林漁業者300万円 法人700万円他 (上限3,000万円)
	農商工連携型(農林局・水産課執行)	県内農林漁業者と連携して加工品を製造する食品加工業者等に対する施設整備の補助 補助率 1/3	食品加工業者等	1,000万円

実績:9件、補助金額14,910千円

【取組事例(スタートアップ型)】

事業者: 米子市のゆず生産者

事業概要: ゆず加工品衛生的な商品の増産化・販路拡大を図る。

補助金: 562千円(冷凍庫・真空包装機の整備)

<支援体制整備事業>

県全域を対象とした、6次産業化(農商工連携)に取り組む農林漁業者等に対する支援窓口として「鳥取6次産業化サポートセンター」を委託・設置した(国庫補助金)。

◇委託先 : 公益財団法人鳥取県産業振興機構

◇委託期間: 平成31年4月～令和2年3月

◇委託金額: 8,086千円

◇業務内容: 6次産業化サポートセンターに専門的知識が豊富な企画推進員を配置し、6次産業化に取り組む農林漁業者等に対し、随時相談対応を行ったほか、必要に応じて専門家を派遣し、事業者が抱える課題解決に当たった。

* 相談件数: 255件、6次産業化プランナー派遣を通じた対応83件、法認定者フォローアップ: 43件

イ 令和元年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- 6次産業化の取組に当たっては、農林漁業者において原料農産物の生産状況や経営環境の見極めが必要であることから、食のみやこ推進課、各普及所、6次産業化サポートセンター、商工団体等関係機関が情報共有を図った。
- 6次産業化サポートセンターでは、6次産業化・農商工連携に向けた農林漁業者等における相談対応において、商品開発やブランディング(高付加価値化)、販路開拓、経営ノウハウのアドバイスに至るまで、広範かつ複合的な課題解決に当たっては中央プランナー(国登録)を、きめ細やかな随時の対応には県登録プランナーを派遣するほか企画推進員が対応するなど、よりニーズに即した相談体制で対応した。

ウ 成果及び効果

- 9件の機械・施設等整備を支援し、6次産業化に取り組む農林業者の経営改善につながった。
- 地域の若手生産者が6次産業化による規格外品の活用を始めたことにより、地域の他の生産者の所得向上につながり、更に産地維持が期待されている。
- 6次産業事業者の個別課題解決のためのプランナー派遣により、作業工程の見直しによるコスト削減や従業員の意識改革、レストランメニュー開発によるオーダー数の増加等につながった。

エ 課題

- 農林漁業者自らが取り組む6次産業化の取組の推進や経営改善を図るため、取組段階やニーズに即した支援を継続して行うことが必要。

6 決算資料

一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算現額			計	調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越財源充当額						
歳入	農林水産業費 国庫補助金	45,166,000	△ 4,706,000	0	40,460,000	38,518,109	38,518,109	0	0	
	和牛振興戦略基金 繰入	3,537,000	△ 496,000	0	3,041,000	3,040,514	3,040,514	0	0	
	雑入	0	77,040,000	0	77,040,000	96,562,652	96,562,652	0	0	
	合計	48,703,000	71,838,000	0	120,541,000	138,121,275	138,121,275	0	0	

一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予算現額			計 A	決算額 B	決算額の内訳		翌 年 繰 越 額 C	差引増減額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費 繰越額			本庁	出納機関			
	農業総務費	122,133,000	△ 11,963,000	0	110,170,000	101,366,102	79,254,836	22,111,266	0	8,803,898	
	中小企業振興費	8,891,000	77,040,000	0	85,931,000	84,447,794	83,647,794	800,000	0	1,483,206	
	合計	131,024,000	65,077,000	0	196,101,000	185,813,896	162,902,630	22,911,266	0	10,287,104	

7 事業別実施状況調べ

(単位:円)

事業名	当初予算額 A	補正予算額 B	支出済額 C	翌年度繰越額 D	差引残額 E=A+B-C-D	執行率 F=C/A	事業の計画と実績・成果・不用額・執行率
(農業総務費) (主)食のみやこ鳥 取県推進事業(発 見・体験「食のみや こ」推進事業)	26,082,000	△2,596,000	21,579,919	0	1,906,081	82.7%	主な事業に関する調べのとおり
食のみやこ鳥取県推 進事業(魅力ある食 づくり事業)	8,051,000	△3,555,000	3,504,457	0	991,543	43.5%	○県産食材を用いた名物料理の開発・PRを 支援。また、料理教室等により旬の県産食材 を使った料理や地元で伝わる郷土料理の普及 を図った。 ○高等学校で県産食材を使った料理講習の開 催や地域での郷土料理講習会により、県産食 材等の良さや調理方法を広めることができ た。また、食のみやこフェスタで実演講習を 行い、広く調理師の技の普及や技術指導を 行った。 ○地元食材を使用した加工品の開発及び販路 開拓に対して支援した。(8団体 補助金1131 千円) ○県内加工業者による鳥取らしい新たな加工 食品のコンクール・表彰を実施し、入賞商品 についてPRを実施した。(応募24商品、表 彰7商品) 【不用となった理由】 とっとりバーガーフェスタが中止となった ため。(当初予算3,555千円) 【執行率が50%以下となった理由】 同上
食のみやこ鳥取米消 費拡大事業	1,715,000	0	1,460,010	0	254,990	85.1%	県産米と県産米粉の消費拡大を図るための事 業を行った。 ○県産米の消費拡大事業 鳥取市内の保育園と連携したイベントで、 県産米の消費拡大のためのPRを実施した。 ○夏休みチャレンジ自分で作ろう米飯朝ごはん 応募者数：県内小学校、義務教育学校、特 別支援学校の5、6年生 841名 ○米粉消費拡大事業 米粉の利用促進に向け、県米粉食品普及推 進協議会へ支援を行った。
(主)6次化・農商 工連携支援事業	60,574,000	△32,784,000	23,312,406	0	4,477,594	38.5%	主な事業に関する調べのとおり 【不用となった理由】 6次化関係補助金において施設整備を予定 していたが、既存の空き施設が活用できる可 能性が出たため見合わせた事業者や、天候不 順等により原料生産が計画通りにいかず設備 投資を断念した事業者があった。また、6次 産業化サポートセンターに配置している企画 推進員1名が7月で退職し、採用要件にあう後 任者を確保できなかったことにより、人件費 の不用額が発生したこと、国からの予算配 分が減額となった。 【執行率が50%以下となった理由】 同上
とっとりジビエ全県 展開推進事業	18,896,000	2,432,000	20,894,951	0	433,049	110.6%	○「いなばのジビエ推進協議会」及び「ほう きのジビエ推進協議会」の活動を支援し、全 県的なジビエの普及を推進した。 ○首都圏シェフを招へいし、「とっとりジビ エ」や県産食材をPRするとともに、招へい した首都圏シェフ等15店舗で「とっとりジビ エフェア」を開催し、都内での認知に努め た。 ○県内料理人等が一堂に会し、様々なジビエ 料理を披露するジビエ料理の祭典「とっとり ジビエフェス」を開催。一般消費者を中心に 参加し、和食・洋食・中華のパラエティに富 んだジビエ料理(計18種類)を披露した。 ○ジビエ料理を家庭向けに普及啓発する為、 レンジフリーゼットを作成し、ジビエ販売の スーパーに設置して、普及を図った。
「空の駅」×「食のみや こ鳥取県」ツインポ ート推進事業	1,080,000	0	1,080,000	0	0	100.0%	○マリニピア賀露と鳥取空港周辺の飲食店等 を掲載した観光マップ「空と海のツインポ ートガイド」を作成し、観光関係施設等73団体 に配布して誘客を図った。
食のみやこ推進課管 理運営費	5,735,000	0	5,226,809	0	508,191	91.1%	

事業名	当初予算額 A	補正予算額 B	支出済額 C	翌年度繰越額 D	差引残額 E=A+B-C-D	執行率 F=C/A	事業の計画と実績・成果・不用額・執行率
「食のみやこ鳥取県」 ×「農泊」体験事業	0	3,200,000	3,200,000	0	0	—	<p>○県内における農林水産業体験やものづくり体験のPRとして、9月から11月まで旅行サイト「じゃらんnet」に旅行予約ページとリンクした記事を掲載した。また、旅行雑誌「じゃらん」に見開きページの記事を掲載した。</p> <p>○10月から11月まで、携帯用アプリ「週刊じゃらん」、メールマガジン「じゃらんニュース」に記事を掲載した。期間中は前者は37242回の閲覧、後者は297回の閲覧があった。SNSとも連動して情報発信を行い、3445回の閲覧があった。</p> <p>○12/20に農業関係等の体験事業者を対象に、ネットを活用したPR法に関するセミナーを開催し、20人が出席して誘客方法を学んだ。</p>
(主)「星空舞」ブランド化推進事業	0	21,340,000	21,107,550	0	232,450	—	主な事業に関する調べのとおり
目 計	122,133,000	△ 11,963,000	101,366,102	0	8,803,898	83%	
(中小企業振興費) 地域資源活用・農商 工連携促進事業	8,891,000	0	7,667,445	0	1,223,555	86.2%	<p>○地域資源活用・農商工連携促進事業（産業振興機構コーディネーター） 鳥取県産業振興機構に、農商工連携専門コーディネーター2名を配置し、売れる商品企画、マッチング、販路開拓等の実践的な支援を行った。</p> <p>○農商工こらぼネット 農商工等連携を促進するためのプラットフォームとして、東中西部の各圏域毎に設置。商工団体と連携し、情報提供、支援策の検討、マッチング等に取組んだ。</p>
農商工連携促進ファ ンド事業返還金	0	77,040,000	76,780,349		259,651		
目 計	8,891,000	77,040,000	84,447,794	0	1,483,206		
合 計	131,024,000	65,077,000	185,813,896	0	10,287,104		

8 予備費の充用調べ ……該当なし

9 繰越関係調べ

(1) 継続費逐次繰越調べ ……該当なし

(2) 繰越明許費調べ ……該当なし

(3) 事故繰越調べ ……該当なし

10 収入証紙取扱い額調べ

有・無

11 現金の取扱状況……該当なし

12 財産に関する調べ

(1)公有財産 ……該当なし

(2)金券類の保有状況

了 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの受払状況

(令和2年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本 年 度 中		本年度末	備 考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 26	枚 0	枚 0	枚 26	

(3)基金 ……該当なし

(4)債権 ……該当なし

13 財産の貸付け及び使用許可調べ ……該当なし

14 借受不動産明細調べ ……該当なし

15 職員駐車場の管理状況調べ ……該当なし

16 寄附物件の受納状況調べ ……該当なし

17 備品の処分状況調べ ……該当なし

18 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ ……該当なし

(2) 物品の照合

有 ・ 無

19 貸付金等状況調べ

(1) 総括表

貸付金の名称	貸付先	貸付額		本年度(元金のみ)			本年度末現在 貸付残高 (A+B)-(C+D+E)	備考
		前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	償還額 (C)	不納欠損額 (D)	償還免除額 (E)		
鳥取県農工商連携促進ファンド	(公財)鳥取県産業振興機構	0	0	0	0	0	0	
合計		0	0	0	0	0	0	

(2) 償還状況

(鳥取県農工商連携促進ファンド)

区分	貸付額		本年度				本年度末		備考
	前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E-F)	償還期未到来 分 (A+B-C)	
元金	過年度分		0	0	0	0	0		
	現年度分		0	0	0	0	0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	
利子	過年度分		95,975,437	95,975,437	0	0	0		
	現年度分		0	0	0	0	0		
	小計		95,975,437	95,975,437	0	0	0		
合計			95,975,437	95,975,437	0	0	0		

- 意見、要望等
- (1) 業務に関する要望等
特になし

--

- (2) 監査委員事務局に対する意見・要望等
特になし

--